

## ロータリーの心

佐世保 田中丸善三郎

昨年度私は当地区のガバナーとして、鳥原年次大会では開会から閉会まで、まことに緊張の連続でした。今年度はバスタガバナーとして、部門別協議会のリーダーをつとめました。が、昨年度と比べると心のゆとりもあり、楽な気持ちでそれこそ腹の底からロータリーの良さを満喫することが出来ました。

武雄大会は全く素晴らしい大会でした。会場

も立派でしたし、準備万端行き届いて、まことに申し分のない大会でした。関係者ご一同の努力の結晶と感謝しています。

特にこの大会で嬉しかったことの一つは、RI会長代理としてレックス・ウエブスターさんが見えたことでした。私にとって忘れえない思い出があるからです。

一昨々年の六月にガバナーノミネーとしてボカラトーンでの国際協議会を無事に終了して、ニューオーリンズの国際大会に臨んだ時で、いわば私が最も張り切っていた時でした。ニューオーリンズで私は二つのロータリー精神の発露を見たのです。

その一つは、国際大会の前日、大会場のスー

パードームへ参りました。一億二千五百万立方フィートといえますから、後菜園の球場がすっぽりと入りこむような大きな会場です。翌日からの大会にそなえて、すべての準備が整然となされておりましたが、私が参りました時に、その広い広い会場の真中で一人の人が、一生懸命にタクトを振って、歌の練習をしていました。

翌日の大会をもう上げるために、誰もいない大会場で只一人、ロータリーソングを歌っている人は大会のソングリーダーでした。

私は厳粛な感動を覚えました。ソングリーダーの姿が大変崇高なものに思われ、これこそ

ロータリー精神だと思いました。

そして、このソングリーダーは誰だろう、レックス・ウエブスターさんであったのです。

私は武雄大会で、思いがけない再会ができたことをほんとうに嬉しく思いました。ロータリーとは何とよいものでしょうか。

ニューオーリンズでの今一つの感動は、ホテルに一通の手紙が私を待っていたことです。私をはじめ、こんなところにまで手紙がきているのは会社から何か特別の用件でもいつてきたのかな、と思いながら、封を切りました。

『田中丸さん、お疲れでしょう。ボカラトーンでの研修は大変だったでしょう。しかし協議会がすんだら、もう勉強は終わったようなものです。ゆっくり大会を楽しんできて下さい』と書いてありました。何と友情のあふれる手紙ではありませんか。お手紙を下されたのは当地区のバスタガバナー中牟田喜兵衛さんでした。私は心に沁みこむような感動を覚えました。これこそロータリーの精神だと思ったのです。

その中牟田さんが、今度の武雄大会で二十五年間出席一〇〇%の表彰を受けられました。私は何よりも嬉しく、心から拍手を送りました。

新しいガバナーエレクトとしてのスタートの時に、私の心にロータリーの大きな灯をともして、ガバナーとしての毎日はげまし続けてくれたお二人の真のロータリアンが、このたびま

た、その灯を暖かく燃え上がらせて頂いたことに私は何と感謝したらいいのでしょうか！ロータリーとはほんとうに良いものですね。

(第二七〇地区バスタガバナー)